定期作況報告

（第５号　平成27年9月20日現在）

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部　上川農業試験場

１．気象概況

８月下旬：平年に比べ、平均気温は2.1℃低く、降水量は47.4㎜少なく、日照時間は5.1時間多かった。夏日（最高気温25℃以上30℃未満）は４日であった。

９月上旬：平年に比べ、平均気温は1.7℃低く、降水量は19㎜少なく、日照時間は5.9時間多かった。夏日は1日であった。

９月中旬：平年に比べ、平均気温は1.7℃低く、降水量は1.7㎜少なく、日照時間は6.5時間少なかった。夏日は0日であった。

８月下旬から９月中旬までの気象は表１のとおりである。

表１　　気象

調査項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	18.0	20.1	▲ 2.1	17.3	19.0	▲ 1.7	15.2	16.9	▲ 1.7	16.8	18.7	▲ 1.9
最高気温(℃)	24.1	25.7	▲ 1.6	22.5	24.7	▲ 2.2	20.6	22.8	▲ 2.2	22.4	24.4	▲ 2.0
最低気温(℃)	12.9	15.4	▲ 2.5	12.4	14.4	▲ 2.0	10.8	11.9	▲ 1.1	12.0	13.9	▲ 1.9
降水量(mm)	2.0	49.4	▲ 47.4	54.0	73.0	▲ 19.0	38.0	39.7	▲ 1.7	94.0	162.1	▲ 68.1
降水日数(日)	1.0	4.7	▲ 3.7	4.0	5.2	▲ 1.2	6.0	4.2	1.8	11.0	14.1	▲ 3.1
日照時間(hr)	61.8	56.7	5.1	52.9	46.7	5.9	42.2	48.7	▲ 6.5	156.9	152.1	4.8

注１）比布アメダス観測値。
２）平年は比布アメダス前10カ年の平均値。
３）▲印は平年に比べて減を示す。

１）水　稲：　並

5月20日現在:　平年並

事由：播種は平年より1日遅い4月15日に行った。播種後平年より日照はやや少なかったが、高温に経過し出芽は良好であった。育苗期間中の天候は４月中旬、日照は少なかったが高温で、４月下旬から５月上旬は高温多照に経過し、苗の生育は平年より進んだ。５月中旬、気温は平年並みで日照は少なかったが、苗の生育は順調であった。移植は平年より1日早い5月18日に行った。移植時の草丈は平年より1.4～2.1㎝高く、第１葉鞘高は平年並であった。主稈葉数と地上部乾物重もほぼ平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

6月20日現在：やや不良

事由：移植時からの低温・日照不足により植え痛みが見られたが、5月末の高温・多照により活着は良好であった。6月1半旬から3半旬の低温・日照不足により生育は大きく遅れ葉色も黄化した。4半旬が高温となり生育は回復しつつあるものの、主稈葉数は平年に比べ0.3～0.4枚少なく、草丈も低く、㎡当たり茎数は15～24%少ない。これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

7月20日現在：やや不良

事由：6月下旬の低温・日照不足と7月上旬の低温により生育は遅れて、幼穂形成期 は平年より2～3日遅く、止葉期は平年より5～6日遅くなった。しかし、7月中旬の高温・多照により生育はしだいに回復しており、7月20日の葉数はほぼ平年並みで、茎数は平年並みからやや多かったものの、草丈は平年より4.1～5.7㎝低かった。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

8月20日現在：やや不良

事由：7月中・下旬の高温により生育はやや回復したが、出穂期は平年より3～4日遅く、穂揃い日数も1日長かった。稈長は平年より0.8～2.2㎝長く、穂長と㎡当たり穂数はほぼ平年並であるが、出穂の早い穂に不稔が多く見られる。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

9月20日現在：　並

事由：8月下旬～9月上旬の日照は平年より多かったが、8月下旬から9月中旬の気温が平年より低く経過しため、成熟期は平年より2～9日遅かった。登熟日数は平年に比べ「な なつぼし」が2日、「ゆめぴりか」で4日長かったが「きらら397」は1日短かった。㎡当　たり穂数は平年に比べ「ななつぼし」が並、「きらら397」「ゆめぴりか」はやや多く、　一穂籾数は「ななつぼし」が並、「きらら397」は少なく、「ゆめぴりか」は多かった。　㎡当たり総籾数は「ななつぼし」が並、「きらら397」はやや少なく、「ゆめぴりか」は　多かった。稔実歩合は平年に比べ「ななつぼし」は0.3ポイント、「ゆめぴりか」が1.1　ポイント低く、「きらら397」は1.2ポイント高く、㎡当たり稔実籾数は「ななつぼし」「きらら397」がほぼ平年並み、「ゆめぴりか」は平年より多かった。

登熟はやや遅れたが、㎡当たり稔実籾数がほぼ平年並みであることから、目下の作況は「並」である。

表２　　9月20日の水稲の生育

項目	品種名／年次		ななつぼし 本年	ななつぼし 平年	ななつぼし 比較	きらら397 本年	きらら397 平年	きらら397 比較	ゆめぴりか 本年	ゆめぴりか 平年	ゆめぴりか 比較
生育期節	播種期 （月日）		4.15	4.14	1	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1
	移植期 （月日）		5.18	5.19	△ 1	5.18	5.19	△ 1	5.18	5.19	△ 1
	幼穂形成期 （月日）		6.26	6.23	3	6.29	6.26	3	6.26	6.24	2
	止葉期 （月日）		7.15	7.09	6	7.16	7.11	5	7.15	7.09	6
	出穂期 （月日）		7.25	7.21	4	7.26	7.23	3	7.24	7.20	4
	成熟期 （月日）		9.14	9.09	5	9.14	9.12	2	9.14	9.05	9
	穂揃日数 （日）		8	7	1	8	7	1	9	8	1
	登熟日数 （日）		51	49	2	50	51	△ 1	52	48	4
	生育日数 （日）		152	148	4	152	151	1	152	145	7
移植時	草丈 （cm）		15.0	13.6	1.4	15.0	12.9	2.1	15.3	13.5	1.8
	葉数 （枚）		4.2	4.0	0.2	4.3	4.1	0.2	4.2	4.3	▲ 0.1
	茎数 （本）		1.8	1.8	0.0	1.9	1.9	0.0	1.9	2.0	▲ 0.1
	第１葉鞘高(cm)		2.3	2.6	▲ 0.3	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5	0.0
	地上部乾物重 (g/100本)		4.73	4.64	0.09	4.75	4.42	0.33	4.66	4.78	▲ 0.12
本田生育	葉数（枚）	6月20日	7.9	8.3	▲ 0.4	8.3	8.6	▲ 0.3	8.2	8.6	▲ 0.4
		7月20日	10.4	10.3	0.1	11.0	11.1	▲ 0.1	10.8	10.7	0.1
		止葉葉数	10.4	10.3	0.1	11.0	11.1	▲ 0.1	10.8	10.7	0.1
	茎数（本/㎡）	6月20日	473	621	▲ 148	619	725	▲ 106	543	683	▲ 140
		7月20日	745	734	11	879	785	94	849	813	36
	草丈（cm）	6月20日	33.8	39.8	▲ 6.0	31.6	33.8	▲ 2.2	33.9	37.9	▲ 4.0
		7月20日	75.9	81.3	▲ 5.4	67.5	73.2	▲ 5.7	75.8	79.9	▲ 4.1
成熟期	稈長 （cm）		69.3	68.5	0.8	64.4	62.5	1.9	67.3	65.1	2.2
	穂長 （cm）		16.9	16.8	0.1	16.2	16.6	▲ 0.4	16.9	16.8	0.1
	穂数 （本/㎡）		683	677	6	750	724	26	770	746	24
収量構成要素	一穂籾数 （粒）		49.1	48.6	0.5	40.4	43.3	▲ 2.9	45.2	42.7	2.5
	㎡あたり籾数 （×千）		33.5	32.9	0.6	30.3	31.2	▲ 0.9	34.8	31.7	3.1
	稔実歩合 （%）		95.8	96.1	▲ 0.3	95.5	94.3	1.2	93.9	95.0	▲ 1.1
	㎡あたり稔実籾数 （×千）		32.1	31.7	0.4	28.9	29.4	▲ 0.5	32.7	30.1	2.6
	同上比 （%）		101	100	1	98	100	▲ 2	109	100	9
	登熟歩合 （%）			91.0			85.9			86.2	
	籾摺歩合 （%）			81.2			80.3			79.1	
	屑米歩合 （%）			1.9			2.4			3.0	
	精玄米千粒重 （g）			22.6			23.3			23.0	
収量	藁重 （kg/10a）			645			598			622	
	精籾重 （kg/10a）			810			811			812	
	精玄米重 （kg/10a）			657			650			641	
	収量平年比 （%）			100			100			100	
	検査等級 （等）			1下	－		1下	－		1下	－

注 1)平年値は前7カ年の中、平成21年(最凶年)、平成26年(最豊年)を除く5カ年の平均値。
2)△は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。
3)苗代耕種概要　育苗様式：成苗ポット苗
施肥量：成分量で㎡あたり、床土 N 3.0g, P_2O_5 7.2g, K_2O 3.0g、
置床 N 27.0g, P_2O_5 34.0g, K_2O 18.0g
4)本田耕種概要　栽植密度：25.3株/㎡（33.0cm×12.0cm）、3本植
施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P_2O_5 9.7kg, K_2O 6.9kg, 堆肥1,000kg
5)精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

２）秋まき小麦：

9月20日現在：

事由：平年より５日早い９月10日に播種し、平年より５日早い９月19日に出芽期となった。

表３　　9月20日の秋まき小麦の生育

品　種　名		きたほなみ		
項　目　＼　年次		本　年	平　年	比　較
播種期　（月.日）		9.10	9.15	△ 5
出芽期　（月.日）		9.19	9.24	△ 5
出穂期　（月.日）			6.06	
成熟期　（月.日）			7.18	
越冬茎歩合　（%）			128	
雪腐病発病度			12.1	
葉数（枚）	平27年10月20日		4.4	
草丈	平27年10月20日		18.5	
	平28年 5月20日		38.4	
（cm）	平28年 6月20日		86.5	
茎数	平27年10月20日		723	
	平28年 5月20日		1366	
（本/m^2）	平28年 6月20日		685	
成熟期	稈長　（cm）		78	
	穂長　（cm）		8.6	
	穂数（本/m^2）		633	
子実重　（kg/10a）			646	
同上平年比　（%）				
リットル重　（g）			804	
千粒重　（g）			39.2	
検査等級　（等）				－

注 1）平年値は、前7か年中、平成22年、27年（収穫年度）を除く5か年の平均値。

2）△は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3）春まき小麦：良

5月20日：やや良

事由：融雪が早く、播種期は平年より5日早い4月14日であった。出芽期は平年より4日早い4月29日となった。出芽後、気温が高く経過したため生育は良好で、草丈、茎数は平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

6月20日：やや良

事由：出芽期は平年より4日早かったが、6月上旬が低温・寡照で経過したため生育は停滞し、出穂期は平年より1日遅くなった。草丈および茎数は平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

7月20日：やや良

事由：稈長と穂数は、ほぼ平年並であり、穂長は平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

8月20日：良

事由：7月下旬の降雨により、少程度の倒伏が発生した。成熟期は平年より4日遅かった。登熟期間は平年より3日長く、子実重は平年比117％と多収であった。

したがって、目下の作況は「良」である。

9月20日現在：良

事由：子実重は平年比117％と多収で、リットル重と千粒重は平年を上回った。

したがって、目下の作況は「良」である。

表４　　9月20日の春まき小麦の生育

品　種　名		春よ恋		
項　目　＼　年次		本　年	平　年	比　較
播種期　（月.日）		4.14	4.19	△ 5
出芽期　（月.日）		4.29	5.03	△ 4
出穂期　（月.日）		6.18	6.17	1
成熟期　（月.日）		8.01	7.28	4
草丈	5月20日	24.7	21.0	3.7
(cm)	6月20日	87.1	81.0	6.1
茎数	5月20日	958	686	272
(本/m^2)	6月20日	842	708	134
成	稈長　(cm)	94	92	2
熟	穂長　(cm)	9.6	8.7	0.9
期	穂数(本/m^2)	523	509	14
子実重　(kg/10a)		573	490	83
同上平年比　(%)		117	100	17
リットル重　(g)		799	791	8
千粒重　(g)		41.8	40.1	1.7
検査等級　(等)			2中	－

注 1）平年値は、前7か年中、平成22年、24年を除く5か年の平均値。

2）△は平年より早を示す。

3）リットル重は１リットル升による測定。

4）大　　豆：やや良

6月20日現在：並

事由：播種期は平年より3日早い5月19日であった。播種後の適度な降雨により出芽が揃い、出芽期も平年より3日早い5月31日であった。6月上旬の低温により生育がやや停滞し、主茎長、主茎節数とも平年をやや下回っている。

したがって、目下の作況は「並」である。

7月20日現在：並

事由：6月下旬から7月上旬まで平年より気温が低く経過したことから、開花期は平年より５日遅れた。主茎長は平年を下まわっているが、主茎節数、分枝数とも平年並となっている。

したがって、目下の作況は「並」である。

8月20日現在：やや良

事由：7月30日の強い降雨により全面が倒伏した。主茎長は平年より5.4cm短い。主茎節数、分枝数および着莢数は平年を上回っているが、倒伏による莢の充実不良等が懸念される。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

9月20日現在：やや良

事由：主茎長は平年より2.5cm短い。主茎節数、分枝数および着莢数は平年を上回っているが、倒伏による莢の充実不良等が懸念される。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

表５　　9月20日の大豆の生育

品　種　名		ユキホマレ		
項　目　＼　年次		本　年	平　年	比　較
播種期　（月.日）		5.19	5.22	△ 3
出芽期　（月.日）		5.31	6.03	△ 3
開花期　（月.日）		7.16	7.11	5
成熟期　（月.日）			9.22	
主茎長	6月20日	10.3	12.0	▲ 1.7
	7月20日	55.5	65.4	▲ 9.9
	8月20日	67.4	72.8	▲ 5.4
	9月20日	70.5	73.0	▲ 2.5
(cm)	成熟期		73.7	
主茎	6月20日	3.5	4.4	▲ 0.9
	7月20日	10.6	10.3	0.3
節数	8月20日	11.1	10.4	0.7
	9月20日	12.1	10.6	1.5
(節)	成熟期		10.6	
分枝数	7月20日	7.0	6.9	0.1
	8月20日	7.9	7.3	0.6
	9月20日	7.0	5.9	1.1
(本/株)	成熟期		5.7	
着莢数	8月20日	120	85	35
	9月20日	92	74	18
(個/株)	成熟期		73	
子実重　(kg/10a)			424	
同上平年比　(%)			100	
百粒重　(g)			37.8	
屑粒率　(%)			3.6	
検査等級　(等)			3上	－

注　1)平年値は、前7か年中、平成22年、26年を除く5か年の平均値。

2)△は平年より早を、▲は平年より減を示す。

5）小　　豆：並

6月20日現在：並

事由：播種期は平年より2日遅い5月26日であった。播種後は、適度な降雨により出芽が揃ったが、6月上旬の低温により出芽期は平年より3日遅かった。そのため、主茎長、本葉数とも平年をやや下回っている。

したがって、目下の作況は「並」である。

7月20日現在：やや不良

事由：6月上旬から7月上旬まで平年より気温が低く経過し、分枝数は平年並みであるが主茎長、本葉数とも平年を下まわっている。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

8月20日現在：並

事由：開花期は平年より4日遅れた。7月30日の強い降雨により全面が倒伏した。主茎長は平年より16.5cm長く、本葉数は平年より少ない。分枝数、着莢数は平年を上回っている。倒伏により生育が遅れており、莢の充実不良等が懸念される。

したがって、目下の作況は「並」である。

9月20日現在：並

事由：成熟期は平年より16日遅れた。主茎長は平年より20cm長く、分枝数、着莢数は平年を上回っているが、主茎節数は平年よりやや少ない。倒伏により生育が遅れており、莢の充実不良等が懸念される。

したがって、目下の作況は「並」である。

表６　　9月20日の小豆の生育

品　種　名		エリモショウズ		
項　目 ＼ 年次		本　年	平　年	比　較
播種期　（月.日）		5.26	5.24	2
出芽期　（月.日）		6.11	6.08	3
開花期　（月.日）		7.26	7.22	4
成熟期　（月.日）		9.20	9. 4	16
主茎長	6月20日	3.8	4.8	▲ 1.0
	7月20日	19.9	38.8	▲ 18.9
	8月20日	82.1	65.6	16.5
(cm)	成熟期	87.0	67.0	20.0
本葉数	6月20日	1.2	1.5	▲ 0.3
	7月20日	8.4	9.7	▲ 1.3
(枚)	8月20日	9.4	13.0	▲ 3.6
主茎節数 (節)	成熟期	14.2	15.0	▲ 0.8
分枝数	7月20日	6.4	6.0	0.4
	8月20日	6.6	5.6	1.0
(本/株)	成熟期	6.7	5.1	1.6
着莢数	8月20日	75	54	21
(個/株)	成熟期	63	59	4
子実重　(kg/10a)			325	
同上平年比　(%)			100	
百粒重　(g)			12.6	
屑粒率　(%)			3.4	
検査等級　(等)			3中	－

注 1）平年値は、前7か年中、平成20年、平成22年を除く5か年の平均値。

2）▲は平年より減を示す。

6）ばれいしょ：良

6月20日現在：並

事由：植付けは平年より1日早かったが、萌芽期は平年より1日遅かった。6月上旬は低温であったが、適度な降雨により、茎長は平年をやや上回っている。

したがって、目下の作況は「並」である。

7月20日現在：やや良

事由：6月下旬から7月上旬まで平年より気温が低く経過し、開花始は平年より４日遅れた。茎長、上いも数、上いも収量、でん粉価とも平年を上まわっている。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

8月20日現在：良

事由：7月下旬に十分な降水量があったため、塊茎の肥大が促進され、上いも平均一個重は平年並に回復し、上いも収量は平年を上回っている。しかし、でん粉価は多量の降雨により低下し、平年より0.5ポイント低い。

したがって、目下の作況は「良」である。

9月20日現在：良

事由:枯凋期は平年より１日遅れた。株当り上いも数は平年より1.2個多く、上いも平均一個重は7g軽かった。上いも収量および中以上いも収量は共に平年比106%であった。3L以上のいもが少なかったため規格内いも収量は平年比111%と平年を上回った。

でん粉価は14.0%と平年を1.1ポイント下回った。

したがって、目下の作況は「良」である。

表７　　9月20日のばれいしょの生育

品種名		男爵薯		
項目＼年次		本年	平年	比較
植付期（月.日）		5.08	5.09	△ 1
萌芽期（月.日）		5.28	5.27	1
開花始（月.日）		6.26	6.22	4
枯凋期（月.日）		8.30	8.29	1
茎長 (cm)	6月20日	41.9	36.8	5.1
	7月20日	55.0	50.1	4.9
上いも数 (個/株)	7月20日	11.7	9.6	2.1
	8月20日	12.8	11.1	1.7
上いも平均一個重 (g)	7月20日	68	81	▲ 13
	8月20日	99	100	▲ 1
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	3504	3388	116
	8月20日	5598	4871	727
でん粉価 (%)	7月20日	15.5	13.9	1.6
	8月20日	14.6	15.1	▲ 0.5
収穫期	上いも数（個/株）	12.0	10.8	1.2
	上いも平均一個重(g)	95	102	▲ 7
	上いも収量 (kg/10a)	5063	4777	286
	同上平年比 (%)	106	100	6
	中以上いも収量(kg/10a)	4497	4243	254
	同上平年比 (%)	106	100	6
	規格内いも収量(kg/10a)	4410	3989	421
	同上平年比 (%)	111	100	11
	でん粉価(%)	14.0	15.1	▲ 1.1

注 1）平年値は、前7か年中、平成22年、23年を除く5か年の平均値。

2)△は平年より早を、▲は平年より減を示す。